

令和3年度 第1回 大和郡山市総合教育会議

①開催日時

令和3年10月21日（木） 午後3時～午後4時

②開催場所

大和郡山市役所 4階 404会議室

③出席者

上田清 市長、谷垣康 教育長、大原末子 教育長職務代理者、  
牧浦温代 教育委員、菊岡洋之 教育委員、岩田淳尚 教育委員

以上6名

事務11名

④傍聴人数

0名

⑤次第

1. 開 会
2. 市長挨拶
3. 出席者紹介
4. 「郷育プロジェクト」について
5. 「響育プロジェクト」について
6. その他
7. 閉 会

⑥議事

○事務局 これより令和3年度第1回大和郡山市総合教育会議を開催させていただきます。

それでは、開会に当たりまして上田市長から御挨拶を申し上げます。

○上田市長 実は半月ぐらい前に、全く面識のない24歳の男性、若者がメールをくれました、私のフェイスブックにあった「郷育と響育」、これに物すごく関心があるということ連絡がありました。

彼は、東京で2年間勤めた後、郡山へ戻ってきて、発達障害を持ってるような子どもを対象とした保育をしたい、そういった学校や園をつくりたいと言うんです。そういう人で、大変話が弾みました。

響育と郷育という言葉に、物すごく共感を覚えたということを書いてくれたのが大変うれしかったのですが、彼は、行動力がすごくて、県内の保育園の理事長を片端から面会に行ったそうです。夢を実現するのではないかと思います、若者のパワーというのはやはりすごいと感じました。

それから、若者の話をすれば、矢田町通に町家未来基地という「まちづくり株式会社」ができました。会社を立ち上げたのが30代と20代の男性。20代の男性も東京で設計関係の仕事しつつ、この会社立ち上げに関わって、いずれは郡山市に戻りたいと言っていました。

こういう人たちの頑張りというものも、そこにつながるのは教育だと思うし、ぜひそういうふるさとに思いを持つような若者が育つような学校教育であつたらいいなということを最近感じたので、そのことを御紹介しておきたいと思います。

○事務局 今年度第1回目の総合教育会議でございますので、本日の出席者の御紹介をさせていただきます。

委員紹介 一略一

最初に、本日の配付資料を確認させていただきます。

本日の次第でございます。大和郡山市教育大綱でございます。無名橋から夢名橋へ名付け親プロジェクトと記載しました A4 の資料でございます。A3 の新聞記事が4枚ございます。ホッチキス留めしたものを2枚ずつということでございます。

それでは、会議に入らせていただきます。

昨年度におきまして、委員の皆様方に様々な御意見をいただきまして、お手元に置かせていただいております大和郡山市教育大綱を作成いたしました。その基本理念及び基本方針に示しております、郷育と響育の取組について、を本日の議題とさせていただいておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、次第に従って進めてまいります。

次第4の郷育プロジェクトについて、でございます。今回の教育大綱を受けまして、郷育プロジェクトにつきまして、学校教育課の福西課長より御報告をさせていただきます。

○福西学校教育課長 大和郡山市教育大綱の基本理念の1つである郷育の取組として、小学校では「無名橋から夢名橋へ～名付け親プロジェクト～」を実施いたしました。

各小学校区にある名前がついてない橋に名前をつけるために、ゲストティーチャーとして市の管理課の職員の方々や地元の方々から橋の歴史や橋についてのことを子供たちが学習し、どのような名前の方がいいか子供たちが検討し、全校による投票で名

前を決定いたしました。決定した名前につきましては、記載のと通りの57の橋に名前をつけることができました。

現時点での取組としましては、各学校に、決定した名前の橋のネームプレートを作成し、名付けた経緯をネームプレートに、QRコードにて説明する準備をしております。また、橋の名前についての発表会でありました小学生サミットにおきましては、来年度はどのような取組を行いたいかという市長の問いかけに対し、歩道橋に名前をつけたい、または、みんなで地域の清掃をしたいなどの意見があり、子供たちにシビックプライドが育ち、市民の1人として地域づくりに積極的な参加につながれたと考えております。

また、中学校におきましては、「英語で発信！大和郡山観光スポット」を取り組みました。各中学校の代表生徒がそれぞれの校区の観光スポットを英語で紹介する動画を作成し、世界に発信する取組でございます。紹介する中身につきましては、下の記載のとおりでございます。現時点での取組としましては、各学校での撮影とオープニング、エンディングの撮影が終わり、動画の編集段階となっております。

このような取組を通して、今後大和郡山市の子供たちが世界に飛び出して行って堂々と自分たちのふるさと大和郡山市について英語で紹介できるようになればと考えております。

以上でございます。

- 事務局 それでは、この本件につきまして委員の皆様、何か御意見はございますでしょうか。
- 上田市長 管理課の出前授業は、本当に反響が大きかった。これは予算ヒアリングで思いついたことですが、みんなで肉付けをして、形にしてくれました。プレートができたら、必ず設置するところに子どもたちを立ち合わせてください。
- 谷垣教育長 技術的に可能ですか。
- 福西学校教育課長 子供たちが自分で名前を直筆で書きます。最初に紙に書いて、それをプレートにして作成します。
- 谷垣教育長 工夫して、プレートを付けてください。管理課の授業はなかなかよかったです。子供も喜んでいました。他の課でも、川や道路の管理、ゴミの処理、水道など、市の取り組みを説明するような、出前授業をすればいいと思います。
- 事務局 市民向け出前講座があるので、それを出前授業という形でできます。
- 谷垣教育長 子供に対しての出前授業がシビックプライドにつながる。教科書での勉強だけでなく、市の職員が授業をすることで、自分たちが住んでいるまちのことを知る。子どもたちにとっていい経験だと思う。
- 上田市長 職員にとってもいい経験になり、いい勉強になった。

○事務局 続きまして、次第5の響育プロジェクトについて、でございます。先ほど御報告させていただきました郷育プロジェクトに次いで響育プロジェクトにつきましても取り組んでいきたいと考えております。まずは生涯学習課の小林課長から御説明させていただきます。

○小林生涯学習課長 それでは、教育大綱基本理念、響育の教育プロジェクトについて現在の取組とこれからの計画について御説明をいたします。

新型コロナウイルス感染症の蔓延等により市内における生涯学習関係事業が中止や縮小となり、本来の活気が失われつつあります。その中でも、特に歌を歌うということに対しての規制が多く、既存の合唱グループにおいて活動の継承が困難となる場合も出てきております。

こうした厳しい状況から勇気を持って元気に1歩ずつ前進する市民、子供たちや団体を応援するため、現在、事業の計画や準備を行っているところです。

まず、今年度において主催は公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団となりますが、当市の教育大綱の基本理念を十分に理解していただき、12月25日に「想いでの詩コンサート2021クリスマスコンサート」を開催する予定です。

内容といたしましては、世代やジャンルを越えて将来も残していきたい、歌い継いでいきたい日本の名曲を中心に選曲し、海外の名曲も散りばめます。出演者は、2VOICEといいます。あまりお聞きにならないグループかもしれませんが、メンバーは、70年代に活躍したコーラスグループ、サーカスの元メンバーで、現在は夫婦のデュオとなっております。そのデュオに、私どもの主催講座であります三の丸少年少女合唱団が同じステージに立ち、皆でともに歌い響くという内容となっております。

また、次年度における計画では、仮称ではありますが、ミュージックビデオ「響け大和郡山」の作成を考えております。

内容といたしましては、市内施設で活動している合唱グループによる子供から高齢者までの多世代の市民が1つの曲を市内の各所で歌い継ぐというミュージックビデオを作成し、その歌声と映像をインターネット等で配信することにより、大和郡山市の響育を具体化させるものでございます。

何分次年度での計画でもあり、予算が確定してからの事業開始となりますが、予算等が伴わない調査立案につきましては、今年度より開始していきたいと考えております。

○事務局 今の響育プロジェクトのことも含めまして、何かよいアイデアなどをいただけたらと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

○上田市長 出前講座、教育委員の皆さんにしていただけたら、それぞれ専門分野があるので面白いのではないのでしょうか。全く分野が違いますよね。

○牧浦委員 お菓子づくりはどうか。

○谷垣教育長 話だけとは違って、お菓子づくりもしましうと。

- 菊岡委員 お茶のグループで以前にありました。
- 谷垣教育長 実際にお菓子作りをすれば喜ばれると思います。
- 菊岡委員 お菓子作りなどは、人数に限られるんですよね。
- 谷垣教育長 大原委員は、今度兵庫県の方へ行かれるでしょう。兵庫県が呼んでくれるのに、郡山は呼んでくれないのですか。
- 大原委員 郡山は小学校の規模が小さいので、費用的に難しい。兵庫県、大阪はマンモスの学校が多いので、1人あたりいくらという形で、させてもらっています。本当は郡山の子供たちにいろいろ聞かせてあげたいなと思います。年に一度、郡山城ホールでどうでしょうか。マナーも学べるということで、そういうのができたらいいなと思っております。
- 上田市長 この間、中学校でコンサートを予定していたのだけれども、できなかった。
- 谷垣教育長 費用面がありましたので。
- 大原委員 室内オケで、できると思います。午前と午後と分けて何日間かで、近場の小学校を回るというのはどうですか。橿原市で、実施したことがあります。体育館であっても、生の音をドーンと聞くと、子供たちって、本当にびっくりもありますし、すごく感動してくれます。
- 上田市長 アルケミストもとてもよかったです。こんやしようたろうというのは、腕に障害をもっている。子どもはストレートだからいろいろ聞くのだけれど、彼は、「僕は縄跳びでも何でもしてきた。1つだけできないのは、うんていだけだよ」と答えると、子どもたちがとても感動すると言っていた。
- 大原委員 ある意味、いい教育ですよ。
- 上田市長 丸島アクアシステムの部長にも出前授業をお願いしていて、いいよと返事をいただいている。非常に巨大なダムの工事などを行っている会社です。全然違う発想で物をつくります。もともと水門からスタートして、初めて造った、第1号の橋が、あのイオンにつながる郡山大橋です。市役所の出前講座もする。それで響育もコンサートも含めていろいろなものをどんどん取り入れていったらいいと思う。
- 牧浦委員 やはり偏らずに、いろんなことをやったらいいなと思いますね。
- 谷垣教育長 響育といたら音楽というふうに考えてしまいますが、もっと広がりのある言葉だと思うんです。文化芸術系も含めてほかにないですか。
- 谷垣教育長 今回、株式会社がやってくれた、外堀公園で絵書くのもいいですよ。
- 上田市長 今度、11月3日ですね。
- 谷垣教育長 夏は水遊びですよ。今度何か外堀であるんですよ。
- 上田市長 秋空アートです。これもまちづくり会社が実施してくれます。
- 谷垣教育長 面白い発想ですよ。

○大原委員 今まで、コロナで部屋にずっと閉じこもっていた。だから壊し屋っていうのがあるんです。それでストレス解消というのがはやってるらしいので、お絵書きも、そういう意味では、塀に本当は書いたらダメだというのを書かせてもらうというところがいい。

○上田市長 これが都市計画課と、まちづくり会社と共催です。まちづくりの若者のアイデアなんです。

○谷垣教育長 本当にアイデアが大事だなと。別に決してお金かけてるわけじゃない。

○上田市長 何か心に響くということだね。

○大原委員 何か面白いことを体験するということが大切です。狂言や歌舞伎のようなものも面白いのではないですか。奈良だったら薪能などしますでしょう。ああいうイメージでも面白いですよ。子供に参加してもらうのもいいと思います。

○谷垣教育長 コロナ禍なので、難しいところもありますが、芸術や文化団体が積極的に学校に出ていこうとしています。そういう情報をしっかりレーダーを張っておいたらいいのがあるかもしれません。費用をかけなくても、体験ができるものもあるのでは。

○上田市長 この間久しぶりに会った県庁のOBが、能にのめり込んでいます。毎朝、飛火野の辺で、1人で能を大きな声でやってるらしい。声出すことが気持ちいいから、習慣になって、観光名物になってるらしい。そして、遠くから拍手が起こったりするようです。

なぜこんな話を出したかという、やはり今子どもたちも声を出すということをしていない。大きな声出させてあげるって、今、必要なのではないかと思っている。

○大原委員 声を出していかないと、発言ができなくなるんです。本当に声を出すということは大事なことですし、ストレス解消になります。昔、大声コンテストとかあったような気もしますが、何かそういうことが、できたらいいかなとも思います。

○上田市長 天守台でやったらいい。

○大原委員 本当に、もうだんだん声を出さなくなってしまう。マスクもしてるといことで、意見を言えなくなってくるらしいです。そうなると、鬱になってしまう子が増えるんです。なにかできたらいいと思います。

○谷垣教育長 市民劇団の子供版はできませんか。子供に芝居を教えたりする人いませんか。

○大原委員 私たちでも、オペラの小さい版で子供が出てくるのとかありますよ。ヘンゼルとグレーテルなど。そういうのに一緒に参加してもらおうというのもいいかもしれませんね。

○谷垣教育長 何回も練習する必要があるので大変でしょう。

○大原委員 子供たちというのは、すごく覚えるの早いですよ。

- 上田市長 市民劇団は、悩みは、50人ほどいて、一生懸命レベルも上がっていますが、8割方が女性です。脚本に限りあって。みんな男役をさせないといけないので、それが1番つらい。
- 大原委員 何かどの世界でも男の人は少ないですよ。
- 谷垣教育長 子どもたちに芝居とか、あるいはオペラとかどうですか。何もしなかったらあまり来ないですか。
- 大原委員 普通にすると来ないと思います。
- 谷垣教育長 今の子どもたちですとあまり芝居とかしない。ダンスは好きですね。文化祭でも、昔は劇でしたが、今はみんなでダンスですね。みんなでつくる。学校越えて集まって何か作るとかできたらいいですね。
- 上田市長 演劇発表会しますか。
- 谷垣教育長 オペラ、ミュージカルならね。何かミュージカルだと楽しい。ストーリーがあったほうがいいですね。募集すると参加者いると思います。
- 大原委員 ミュージカルですよ。ダンスだったら、いっぱい来るでしょうね。ダンスの上手な先生にちゃんと教えてもらわないとわからないですね。
- 事務局 今、中学校でもダンスというのは体育の中に入っています。
- 大原委員 今の子どもたちは現代的なリズムのダンスが好きですよ。楽しいですもんね。
- 谷垣教育長 ダンスというのもいいですが、ミュージカルやってほしいね。
- 大原委員 そうですね。やっぱり体動かして声を出してというのはいいかもしれませんね。
- 事務局 中学校の文化祭でしたら、やっぱりオーディションでダンスが多いです。
- 上田市長 芝居は難しいですかね。
- 大原委員 芝居は好き嫌いもあるから、なかなか難しいかもしれません。
- 牧浦委員 子供たちだけでオペレッタとかどうですか。
- 大原委員 子供だけというのは、難しいと思います。補佐役として大人を2人、3人は必要です。サウンド・オブ・ミュージックというのも、子供たちでできるような物語になってますし、やろうと思えばできると思います。
- 牧浦委員 構成が大変ですね。
- 大原委員 構成と指導が大変です。
- 谷垣教育長 指導をしていただく人がいるかどうかですね。そういう子供を見る、請け負える人がいてくれたらいいですね。音楽は、音楽の先生でそういうことに熱心な人をお願いできないですか。
- 大原委員 今なら、来てくださる方が多いかもしれません。
- 谷垣教育長 1つ具体的な提案がありましたね。

- 上田市長 古事語り部座だって、面白いのは、自分たちでストーリー考えられるよ。みんなで話し合って、面白さがわかると、自分たちで進めていく。
- 大原委員 小物づくりって、とてもうれしいです。私たちも、オペラなどで、手づくりして小物をつくるのはとても楽しいです。
- 上田市長 もうどんどん自然にアイデアを全部団員が出してるんです。子どもたちも、そういうアイデアをどんどん出せるようになるのが1番いいと思う。
- 谷垣教育長 みんなで考えて協力して何か1つの物をつくるという過程が、まさに響育ですよね。
- 大原委員 子供たちが参加してできるようなものがあればいいんですけどね。
- 岩田委員 例えば、お城まつり、今1番、恒例の市の行事で1番大きい行事です。例えば、源九郎狐で、子供が行列するだけでしょう。そこで何かパフォーマンスするのはどうですか。例えば、源九郎狐が義経千本桜とか歌舞伎とも関わるし、それをミュージカル仕立てにしてもいいですし、それを発表の場とする。
- 谷垣教育長 絵本になってましたね。
- 岩田委員 例えば郡山ゆかりの文化と関わって発表の場もあるということであれば、それも1つのきっかけになるかなと。
- 上田市長 語り部座で、郡山千本桜という作品はある。郡山なら郡山の民謡を集める。
- 岩田委員 行事するだけでなく、お城で発表の舞台とかあればいいと思います。
- 上田市長 どういう仕掛けをするかですね。
- 菊岡委員 今、将来なりたい職業で、ユーチューバーという時代です。ここに出てます遺跡の存在知りませんでした。矢田寺の味噌なめ地蔵の話も知りませんでした。中学生が、インターネットを使って自分たちでいろんなレポートをユーチューブで行う。あまり堅いものにしないで、子どもたちの目線で、面白く柔らかいもので、短い動画がいいと思います。また、響育ですが、同じ曲目で、ずっと各地で歌っていただいて動画発信する方法もあると思います。
- 上田市長 アルケミストの、「あの空」だったかと思いますが、同じような発想で、全国の小学校で歌って発信をしていくということがありました。とてもいい歌です。
- 谷垣教育長 例えば、教育委員会のホームページにそういうコーナーをつくっておいて。自由に投稿させるという方法もあるのではないかな。ある程度見た上で、子供たちのつくった動画を乗せる。
- 菊岡委員 子供でなくても、結構おじいちゃんおばあちゃんもいいとおもいます。語り部じゃないですけど、昔のことなど、地元の本当にニッチなネタを語る。外国人から見て日本のよさとか面白さとか、郡山のよさというのを、地元ネタを体験されてレポートされてもいいと思います。英語でも発信できます。
- 谷垣教育長 外国の方が発信したら面白いと思う。金魚すくいしてるところを発信する。

○菊岡委員 こっちが当たり前と思ってるのを外国人から見たらすごい変わってて、面白いことがあると思います。

○事務局 それでは、続きまして、次第の6にその他設けております。事務局からは特にございませんが、委員の皆様方からは、なにかございませんでしょうか。

○事務局 いろいろ御意見をいただきまして、ありがとうございます。

以上をもちまして、本日の会議事項は全て終了いたしました。これにて総合教育会議を閉会させていただきます。